

# 令和6年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

令和6年度予算査定は、令和5年11月から令和6年1月にかけて実施し、令和6年2月22日に、令和6年度予算案を記者発表いたしました。

令和6年度の各会計予算案は、総合計画の将来像の実現に向けて、重点プロジェクトや総合戦略の具現化、こども・子育て施策、デジタルトランスフォーメーション（DX）に向けた取り組みなど、様々な施策や事業を盛り込んだものとなりました。

令和6年度予算の主な事業の査定内容について、お知らせいたします。

主な事業の査定内容です。

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>文書管理・電子決裁システムの導入</b> 現在、市の業務の大部分は、紙による意思決定（稟議・決裁）を行っています。 これら業務をデジタル化することで、書類検索簡素化による事務効率の向上、保管スペースの減少、意思決定の迅速化を図るとともに、紙の使用量削減、CO2排出量の削減を目指すものです。	要求額 33,625				33,625	デジタル技術の活用は、人口減少社会の中で必要な住民サービスを維持するために必須なものであります。 本市におきましても当該システムの導入により業務の効率化を図り、市民サービスの向上を目指していきます。
	査定額 10,000 △事業内容を精査した上で実施				10,000	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>AI-GOV事業</b> AI技術は、あらゆる場面で活用されており、行政においても例外ではありません。 本市においても次のようなAI技術を導入し、市民サービスの向上、日常業務の効率化に取り組もうとするものです。 ①市民問い合わせ用・庁内問い合わせ用AIチャットボット ②生成AI（チャットGPTなど） ③LINE公式アカウントメニューの再構築 ④公式個人認証サービス・電子申請フォーム利用による電子申請の開始	要求額 34,980	17,490			17,490	デジタル技術の活用は、人口減少社会の中で必要な住民サービスを維持するために必須なものであります。 しかしながら、これら事業を展開していくには多額の費用を要するため、大規模の自治体ほどスケールメリットがあり、本市の規模では費用対効果の面からも検討が必要となることから、今回は、生成AIの導入による業務の効率化と、LINEアカウントメニューの再構築による市民サービスの向上を図る予算を計上することとしました。
	査定額 4,010 △一部見直し					
<b>遠隔相談窓口の導入</b> 市役所で行う手続きには、法令等専門的な知見を要するものがあり、市役所などにお越しいただき、実際に対面しながら書類作成や相談をしていただいております。 名寄庁舎、風連庁舎、智恵文支所、文化センターなど公共施設に、タッチパネルディスプレイやカメラ、プリンタを設置し、施設間でテレビ会議のように相互に対応できる環境を整備し、市民サービスの向上を図ろうとするものであります。	要求額 7,875	3,937			3,938	平成の合併以降、多数の公共施設を有する自治体が増加し、このような遠隔相談窓口の導入は、道内においても実績があります。年度末、年度初めの窓口混雑状況の緩和や職員配置の適正配置などメリットが期待されますが、それぞれの自治体においてデメリットも聞こえているところです。 職員の一時的な配置換え、運用方法の見直しでの対応の可否、費用対効果など、検討すべき課題がみられることから、予算の計上は見送ることとしました。
	査定額 0 ×ゼロ査定					

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<p><b>ラジコン草刈り機の導入</b></p> <p>各公共施設やスポーツ施設の維持管理、生活環境保持のため、草刈り業務を行っておりますが、中には、急斜面等、危険を伴う箇所もあるほか、1日2時間以下が推奨されている厚生労働省の振動障害予防対策指針に対等できていない草刈り作業時間を要しているなどの課題があります。</p> <p>ラジコン式の遠隔操作ができる草刈り機を導入し、作業員の危険な場所での作業回避と、作業時間の軽減を図ろうとするものであります。</p>	<p>要求額</p> <p>4,201</p> <hr/> <p>査定額</p> <p>0</p> <p>×ゼロ査定</p>				<p>4,201</p> <hr/> <p>0</p>	<p>草刈り業務は、公共施設の維持管理のほか、ヒグマやキタキツネなどの鳥獣対策などにおいても必要な業務であり、業務量は年々増加傾向にあります。</p> <p>また、近年は業務時期の気温が上昇し作業員の安全確保や、慢性的に作業員の確保が難しい状況が続いていることから業務の効率化を図る上で、本機器の導入は有効な手段であると考えます。</p> <p>昨年、複数の公共施設において試験的に本機を導入し、作業時間の軽減、安全性などが確認できましたが、費用対効果が低いという結果となり、予算の計上を見送ることになりました。</p> <p>今後は、ピヤシリスキー場の急斜面での使用を含め、庁内全体で効果的な使用が可能な施設の掘り起しと、有効な財源確保などの課題を整理しながら、本機器の導入を再検討します。</p>
<p><b>ピヤシリシャンツェ改修工事実施設計</b></p> <p>ピヤシリシャンツェは、国内で数少ないSAJ公認のジャンプ台であり、夏冬を通して各種大会の開催、選手の合宿など活用されており、宿泊等による経済効果、交流人口拡大など、本市が進めている冬季スポーツ拠点化の重要な施設の一つであります。</p> <p>しかしながら、施設の老朽化・各所の破損が見られ全体的な改修が必要な状況となってきたことから、安全、良好な競技環境を提供するため、改修に向けた実施設計を行おうとするものであります。</p>	<p>要求額</p> <p>12,605</p> <hr/> <p>査定額</p> <p>0</p> <p>×ゼロ査定</p>				<p>12,605</p> <hr/> <p>0</p>	<p>ピヤシリシャンツェは本市のスポーツ文化を育んできた象徴的な施設であり、道内ジャンプ競技の発展に寄与しています。</p> <p>また、国内シーズンの皮切りとなる大会の開催や合宿等で多くの選手や関係者が訪れることで、市内の宿泊・飲食業等の分野において、大きな経済効果をもたらしているところです。</p> <p>一方で、市内にジャンプ少年団等はなく、市民が利用する機会が極端に少ない施設であることや、老朽化に伴う大型の改修が必要であることから、今後の設備投資に対するリターンとリスクのバランスについて、改めて関係団体の皆さんとの協議・検討が必要であると判断し、予算計上を見送ることにしました。</p>

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>各種証明書コンビニ交付の導入</b> 従来、市役所窓口、郵送での請求の二通りでしか対応できなかった住民票、印鑑登録証明書などの各種証明書の発行を、全国のコンビニエンスストアで行えるようにし、市民サービスの向上を図ろうとするものです。	要求額 22,774				22,774	行政現場におけるオンラインシステムの導入等、デジタル技術の活用が進んでおり、行政窓口の在り方は、書かない窓口、オンライン申請の導入など、様々な施策が展開されてきております。また、国は行政システムの標準化を進めており、標準化システムへの移行が進むと、これら施策の展開にかかる費用も軽減されることが期待されます。 今回、コンビニ交付にかかる予算要求がありましたが、現状での導入は、今後の窓口業務のあり方を検討していく中では、後戻りせざるを得ないことになる恐れもあるほか、検討すべき課題が多く見られることから、予算計上は見送ることとしました。
	査定額 0 × ゼロ査定				0	
<b>危険家屋等除却補助金</b> 現在、本市では、危険家屋と認められる特定空家を所有しながらも、解体に要する費用を工面することが難しい方へ上限50万円（立地条件等によっては上限80万円）の補助を行っています。 今般、補助対象を拡大し、旧耐震基準（昭和56年5月31日以前建築家屋）の空き家であり、かつ市条例に基づく指導を受けながらも解体に至らない所有者に対し、1件5万円の補助を行い、管理不十分な空家発生の抑制、安全安心な生活環境の保持に努めようとするものです。	要求額 1,300	400			900	本市では、例年200件ほどの家屋が解体されています。今回、補助制度の拡充について議論しましたが、限りある財源を活用するため、補助採択件数に上限を設けることも検討しなければなりません。多くの皆さんが所有者の責任において自費で解体している中での補助制度の拡大は、「補助金採択待ち」「解体の先延ばし」など、誤った方向へ誘導してしまうことが懸念されます。また、危険家屋発生の予防策としては、様々な施策が考えられ、まだ議論が不十分であると判断しました。 今回の予算は、従前の補助にかかる部分のみ計上することとし、本市における空家発生の状況等を再度分析し、行政としてどう支援していくことが効果的な施策となるのか、検討していくこととします。
	査定額 800 △一部見直し	400			400	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>ふれあい収集事業</b> 既存のごみ出し支援制度の対象とはならない方で、高齢や障がいなどにより、家庭ごみを地域共有のごみステーション等まで持っていくことが困難であり、近隣の親族や市民の協力を得ることについても困難な方に対し、週1回、安否確認を兼ねて、家庭ごみの収集を行うものです。 まずは、ステーション方式での収集を実施している風連地区から事業を開始していきます。	要求額 1,087				1,087	日常生活の中でごみはどうしても発生し、その処理が必要になります。これまでの経緯から、風連地区はステーション方式でのごみ収集を行っており、高齢者や障がいのある方の中には、ごみ出しに支障のある方がいらっしゃいます。住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、当事業を実施することとしました。 なお、当面は風連地区での事業としますが、課題等を整理し、実質的に共有ステーションでのごみ収集となっている名寄農村地区への拡充についても検討していくこととします。
	査定額 1,087 ○実施				1,087	
<b>乳幼児等医療給付事業</b> 現在、未就学児の入院・通院及び小学生の入院にかかる費用は、北海道と市が1/2ずつ助成し、小学生の通院にかかる費用については、全額市が助成しており、本市においては、小学生まで医療費の無償化を実施しています。 今回、市独自助成の部分拡充し、高校生年代（18歳年度末）までを医療費無償化の対象とし、子育て世帯の経済的負担の軽減、疾病の重症化防止につなげようとするものです。	要求額 118,025	25,248	30,000	100	62,677	医療費無償化は、各自治体が行っていますが、その自治体の規模・財政力により地域間格差が生じております。こども・子育て支援は、国の重要施策の一つに掲げられており、本来は、国において統一的な基準と財政措置を講じる必要があると考えますが、本市においても国・道と連携しながら取り組んでいかなければならない施策であり、医療費無償化の対象を高校生年代（18歳年度末）まで拡充することとしました。 事業開始については、システム改修等、準備を要することから令和6年10月から対象者拡充をスタートすることとしました。 こども・子育て施策への投資は未来への投資です。安心してこどもを産み育てることができる環境づくりを推進していきます。
	査定額 106,170 △一部見直し	25,248	30,000	100	50,822	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>若者地元定着奨学金返済支援事業</b> ハローワーク名寄管内の有効求人倍率は、全国・全道平均よりも高い数値で推移しており、人材不足は、この地域の喫緊の課題となっております。 この人材不足を解消し地域経済の担い手となる人材を確保するため、大学などを卒業後、新たに名寄市内で就業した方を対象に、在学中に借り入れた奨学金の返済に対し支援を行い、広く若年層の定着を目指すものです。 併せて、雇用する企業側が行う返済援助についても、その一部を支援することで、雇用活動に積極的な企業の人材確保の取り組みを後押しします。	要求額 1,000				1,000	人材不足は、本市における重要な課題の一つで、これまで商工団体のほか、多くの皆さんから声をいただき、議論を進めてきました。 今回、対象者への直接支援だけでなく、雇用する企業側が行う返済援助についても支援する制度としました。これにより、この地域の人材不足解消に向け、官民連携して継続的に取り組んでいける体制づくりを進めてまいります。
	査定額 1,000 ○実施				1,000	
<b>道の駅屋上防水工事</b> 本市の南側の玄関口に位置し、特産品の販売、観光情報の発信等、地域振興を担う重要な施設の一つである、道の駅「もち米の里☆なよろ」は、建築から15年が経過し、建物、設備の老朽化が進んでいます。 道の駅本体の屋上に施行されている防水加工のトップコートが剥がれており、雨漏りにより道の駅の営業に支障を及ぼす恐れが生じたことから、防水改修工事を行うものです。	要求額 54,000		54,000		0	道の駅「もち米の里☆なよろ」においては施設の老朽化が進み、対応が必要な状況にありましたが、高規格道路開通による名寄インターチェンジ拠点整備構想の中で、「道の駅的な賑わい施設」の整備について提言を受けていることや、財源について課題があり、整備の方法等について、これまで議論を重ねてまいりました。 今般、本市の道の駅が、広域的な防災拠点に位置づけられる「防災道の駅」の候補となり、償還金の7割が後年度の交付税にて措置される起債を活用できる見込みになったほか、高規格道路開通までまだ時間を要することなどから、今回、屋上防水工事の予算を計上することとしました。 しかしながら、高規格道路が開通すると、道の駅が面する国道40号の交通量が減少することが推計されます。今後の道の駅の在り方、現施設の今後の利活用など、関係者等と検討・協議を行ってまいります。
	査定額 54,000 ○実施		54,000		0	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>ピヤシリスキー場整備事業</b> 市内外から多くのスキーヤー・ボーダーが訪れているピヤシリスキー場は、安全運営のため、計画的に施設・設備の更新を実施してきました。 今回は、第3ペアリフト常用・非常用制動機の更新、第1キュービクル高圧受電設備機器の更新、ペアリフト握索部品の購入、第1グレンデ照明のLED化工事を行おうとするものです。	要求額 98,219		97,400		819	昨今、海外から多くの方々から北海道のパウダースノーを求めて来道しており、ピヤシリスキー場の経営においても重要な顧客となっております。一方、ピヤシリスキー場は、本市及び周辺地域の皆様のための冬季レクリエーションを提供する「市民スキー場」であることが求められており、年齢構成等、社会構造が変化していく中、どこまで投資できるか十分な検討・協議が必要な状況であります。 今回の当初予算では、安全面に関わる、制動機、受電設備の更新、握索部品の購入予算を計上し、多額の費用を要するグレンデ照明のLED化工事にかかる経費は計上しないこととしました。 ピヤシリスキー場の在り方、今後の整備方針について、関係団体の皆様の話も伺いながら、検討していきます。
	査定額 19,679 △一部見直し		18,900		779	
<b>公園施設整備工事</b> 市内公園施設は、定期的な維持管理のほか、遊具・照明灯等の更新を計画的に実施してきました。今回、令和3年度に実施したアンケートにおいて要望が多かった、噴水や水の遊び場の整備として、名寄公園、浅江島公園の既存噴水設備を改修しようとするものです。	要求額 18,000		12,500		5,500	名寄公園、浅江島公園とも、古くから市民の憩いの場として利用されている歴史ある公園であります。老朽化による機能低下や、破損している公園施設もあることから、補修や改修により公園環境を維持しております。 今回、担当部署からは噴水・水の遊び場にフォーカスした予算の要求がありましたが、整備内容について議論不足であると判断し、当初予算には計上しないことといたしました。 費用をかけてもやって良かったと市民の皆様が感じられる事業となるよう、議論を続けてまいります。
	査定額 0 × ゼロ査定				0	